

令和5年度版

家庭学習の手引き

～すすんで考え 表現する子をめざして～



家庭を学びの環境に

- その1 基本的な生活習慣を見直しましょう
早ね・早起き・朝ごはんを実行させましょう
- その2 家庭の学習環境を整えましょう
決まった場所で一定の時間、
テレビを消して学習に集中させましょう
- その3 学習習慣の定着をめざしましょう
基本的な学習習慣や
自学自習の習慣を身につかせましょう



十和田市立ちとせ小学校

低学年（１・２年）

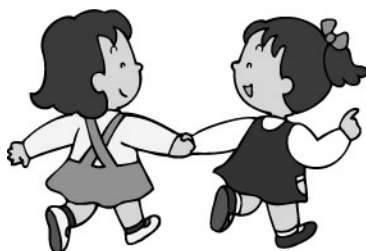
…基本的な学習習慣を身につけさせましょう

「早ね・早おき」「規則正しい食事」「朝の排便」など、基本的な生活習慣を身につけることが、学習習慣の定着に欠かせません。

また、家族の助けを借りながら家庭学習を行い、出来たことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることが大切な時期です。

学習の特徴

- ◆「読み・書き・計算」などの、基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、くりかえし練習することで力がつく内容がたくさんあります。
- ◆「正しいしせいですわる」「えんぴつを正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整とんをする」などが、学習の基本になります。
- ◆生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。



家庭での援助

- ・学校からの課題として、１・２年生とも宿題プリントと音読を毎日行わせることを原則とします。
- ・１年生には宿題をやりきらせることを続けます。
- ・２年生は、プリント表裏１枚に取り組ませ、週末に絵日記や漢字練習に取り組ませます。

- 学習を始める前に、テレビなどを消しましょう。
- 勉強する場の整理整とんをしましょう。
- まずは宿題をやりきらせることを続けさせましょう。
- 学習時間を決めて、音読や家庭学習をする時は近くにいてあげましょう。
- 学校からの連絡やおたより、明日の授業などを子どもと一緒に確かめましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計を読んだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。

中学年（3・4年）

…自主的な学習習慣を身につけさせましょう

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙（言葉の数）もぐんとふえ、抽象的な思考ができるようになっていわれています。

反面、「急に勉強がむずかしくなった」と戸惑ったり、苦手意識をもったりする子どもも出てきます。自信をもたせたり、やる気をふくらませたりするような励ましが大切です。

学習の特徴

- ◆総合的な学習の時間や社会・理科、外国語活動の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- ◆国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- ◆算数では、四則計算（ $+$ ・ $-$ ・ \times ・ \div ）の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。
- ◆外国語活動が始まり、英語の基礎を学びます。



家庭での援助

- ・学校からの課題として、3・4年生とも宿題プリントと音読を毎日行わせることを原則とします。
- ・3年生、4年生は家庭学習ノートと漢字ノートを交互に取り組みさせます。また、週末に家読や日記、暗唱・音読に取り組みさせます。

- 「低学年じゃないのだから」と目を離してしまわず、あたたかい励ましの言葉でやる気を起こさせたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- 自分から机に向かい、集中して取り組む習慣を身につけさせましょう。
- 学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ、必ずやりきらせましょう。
- 学校からのおたよりなどを親に手渡す習慣をつけさせましょう。
- 社会や理科で勉強する地域社会や文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。

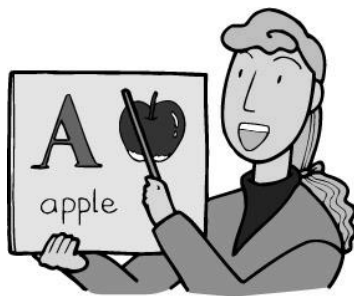
高学年（５・６年）

…自学自習の習慣を身につけさせましょう

生活習慣のリズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、家族の言葉かけが大切になります。自分の将来をふくめ、目標を決めて努力できるように、あたたかく見守りながら励ましていくことが大切です。

学習の特徴

- ◆学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- ◆筋道を立てて考える力や、広い視野で物事をみる力が必要になります。
- ◆家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- ◆自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を深めることができます。



家庭での援助

・学校からの課題として、５・６年とも音読を毎日行わせることを原則とします。
・家庭学習ノートやプリントを、５年生は５０分以上、６年生は６０分以上取り組ませます。
※問題集など学校からの課題以外に取り組むこともお勧めします。上手に活用し学力向上につなげましょう。

- 「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自尊感情を育てるように、認めたり励ましたりしてあげましょう。
- 家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようにしてあげましょう。
- 学習する場所を決め、整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしてあげましょう。

学習規律の確立に取り組んでいます

そのほかに学校では、授業時に守ることや、家で行うことなど、次のようなやくそくを全校で取り組むことにしました。ご理解とご協力をお願いします。

◆授業時に守ること◆

- ① 始まりのチャイムで着席する
- ② 号令が始まる前に学習の準備をする
- ③ 服装をととのえる（シャツ・ズック）
- ④ 姿勢よく学習する
- ⑤ 話す人の方を見て聞く
- ⑥ だまって最後まで聞く
- ⑦ うなずき反応しながら聞く
- ⑧ わかったら「はい」と返事をする
- ⑨ その場に応じた大きさの声で話す
- ⑩ 「です・ます」を使って最後まで話す

◆家で行うこと◆

- ① 学習用具の準備をする
 - * 筆箱の中身は*
 - ・ 鉛筆（Bか2B）
5・6本
 - ・ 消しゴム
 - ・ 赤ペン・青ペン
 - ・ 名前ペン（油性）
 - ・ ミニ定規
 - ☆ 学習に集中できるようにキャラクター入りのものは避ける。
- ② 学校からの配布物を必ず家の人に渡す
- ③ 宿題等の提出期限を守る